



関西英語教育学会

第 26 回 KELES セミナー

2012 年 11 月 11 日 (日)

龍谷大学・大阪梅田キャンパス 14 階

〒530-0001 大阪市北区梅田 2-2-2

ヒルトンプラザウエストオフィスタワー14 階

12:30-16:50 (12:00 受付開始)

プログラム

英語リーディング指導をダイナミックに!

	12:30-12:40	開会のことば
I	12:40-13:50	誰にでもできる一英語による英語の授業 齋藤 栄二先生 (京都外国語大学・教授)
II	14:00-15:10	効果的なリーディング指導ア・ラ・カルト 吉田 晴世先生 (大阪教育大学・教授)
	15:10-15:30	休憩・意見交換
III	15:30-16:40	英語リーディングテストの考え方と作り方 卯城 祐司先生 (筑波大学・教授)
	16:40-16:50	閉会のことば

要事前登録

参加費：会員無料・非会員 1,000 円

会場のスペースの都合上、本学会ウェブサイトの参加申込フォームにて、

事前参加登録をお願いします。

<http://www.keles.jp/>

お問合せ

事務局 神戸大学 横川博一研究室 yokokawa@kobe-u.ac.jp





齋藤 栄二

京都外国語大学教授、関西英語教育学会顧問

1972年、ハワイ大学大学院修士課程修了（英語教授法専攻）。小学校、中学校、高等学校、教育センター、短期大学、大学、大学院にて教鞭をとる。京都教育大学、関西大学外国語教育学研究機構大学院研究科長、関西大学英語教育連携センター長等を歴任して現職。いつも思うこと：「英語の時間に、自分の目の前にいる生徒たちが、英語が好きであり、力を伸ばしてくれれば、どんなに良いことか。そういう生徒たちだけに囲まれて、英語を教えることができたとすれば、どんなに楽しいことだろう。」

【講演概要】 今回のセミナーのメインテーマは、「英語でのリーディング指導をダイナミックに！」です。その線に添って私のテーマは、「誰にでもできる—英語による英語の指導」としました。新しい教え方に教師がチャレンジするということは、教師自身が教え方を変えるということです。そのためには、教師自身が変わらなければなりません。教師が変わらないで、生徒が変わることは期待できません。「教えるということは、教師自身が変わること」それが私の結論です。



吉田 晴世

大阪教育大学教授

米国カンザス大学大学院（英語教育学）修了、神戸大学大学院国際文化研究科博士課程修了。ICT 活用による英語教育を中心に、小学校外国語（英語）活動、中高等教育における4技能の育成に取り組んでいる。言語の認知メカニズムを探るために、言語理論にもとづき、心理言語学的手法をもちいて理論的・実証的に研究を行なっている。

【講演概要】 リーディングは、どちらかというと地味な活動だと思われがちですが、理解に至るまでの処理過程・認知メカニズムの側面から捉えても、とてもダイナミックな活動です。外国語としての英語のリーディング指導について、音声中心で進める授業における教科書の使い方、授業で使えるICT教材の紹介と活動例、黙読指導の必要性、集中力を高める音読指導等を紹介します。さらには、リーディングを中心とした4技能を統合させた授業の組み立て方についても解説します。

卯城 祐司

筑波大学教授、全国英語教育学会副会長

北海道教育大学旭川校卒業。筑波大学大学院修了。博士（言語学）。道立高校3校の教諭、北海道教育大学釧路校助教授、筑波大学助教授を経て、現在、筑波大学人文社会系教授。全国英語教育学会副会長、小学校英語教育学会会長、関東甲信越英語教育学会会長。『英語リーディングの科学：「読めたつもり」の謎を解く』、『英語で英語を読む授業』、『英語リーディングテストの考え方と作り方』（以上 編著・研究社）、『図解で納得！英語情報ハンドブック』（ぎょうせい）、文部科学省検定済高校教科書『ELEMENT I, II』（代表、啓林館）、同中学校教科書『Sunshine English Course 1, 2, 3』（共著、開隆堂出版）ほか著書・論文多数。



【講演概要】 リーディングのテストで常識とされるのが、「教科書で1度読んだ英文をテストに出してはいけぬ」というものです。確かに、この種のテストは「日本語訳の暗記を測るテスト」のまか何ものでもありません。しかし、まったく違う新たな英文をどこからひっぱりてきてテストを作った場合、英語リーディングの実力を見ることはできても、授業の中でのリーディング指導について理解度を見ることはできないかもしれません。教科書を用いながら、「初見の英文でなければリーディングのテストとは言えない」という問題をどう実践の場で克服していくかについて考えたいと思います。